

農業経営体の経営発展を支援する「経営評価システム」について

1 経営評価システムの目的

- 経営体の経営状況を、財務面や非財務面から可視化し、課題を明確化するためのツールです。
- このツールを活用し、経営体と広島県等の支援機関が、経営体の現状・課題を理解し、経営発展に向けた取り組みを促すきっかけとしたいと考えています。

2 経営評価システムの内容

- 対象経営体の生産能力、販売能力、経営管理能力等をベンチマーク(基準値)と比較分析をすることにより、経営課題の優先順位を可視化します。
- 可視化した情報は、県でデータベース化し、経年での分析や、類似の経営体との比較分析を可能とします。

➡ 明確になった課題を解決し、経営発展するため、各種県施策等を活用し、支援を行います。

3 活用対象者

経営発展を目指す経営体

4 活用の流れ(イメージ)

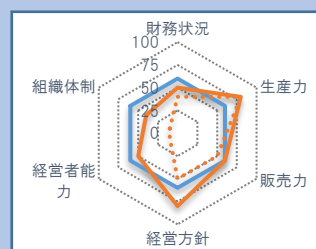
経営者等がシートに入力し、県と共有(又は県がヒアリングして入力)

財務状況	売上高
生産力	単収(t/10a)
販売力	販売単価(円)
....	

経営体

共有された情報は、県でデータベース化

県機関(農業技術指導所等)が、課題を可視化し、経営体にフィードバック



県

課題に応じ、県機関等による支援(農業経営者サポート事業、ひろしま経営者学校等の県施策等を活用)

経営体の課題解決

1 経営体情報

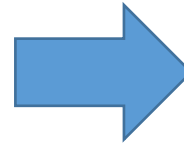
基本情報

- 主な栽培品目、面積、単収
- 販売額、主な販売先、単価
- 農業従事者数（経営者、従業員）、労働時間 など

財務面の 評価

決算書情報

- 損益計算書（P/L）
- 貸借対照表（B/S）

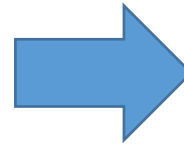


以下の4区分で評価

- 収益性
- 安全性
- 生産性
- 成長性

非財務面の 評価

事業性評価チェックリスト （110項目）



以下の3区分で評価

- 生産力
- 販売力
- 経営管理力

評価データのイメージ（財務評価）

表・グラフで、経営体の経年分析や、ベンチマーク（金融公庫データ等）との比較分析を実施。データが集まってきたら、県内の平均値や篤農家との比較も可能となります。

財務評価表

評価基準参照：対象行で(ダブルクリック) or [評価基準参照]ボタン

評価基準参照

[日本政策金融公庫比較] [2021年] 生産者：990900

[]：5段階評価

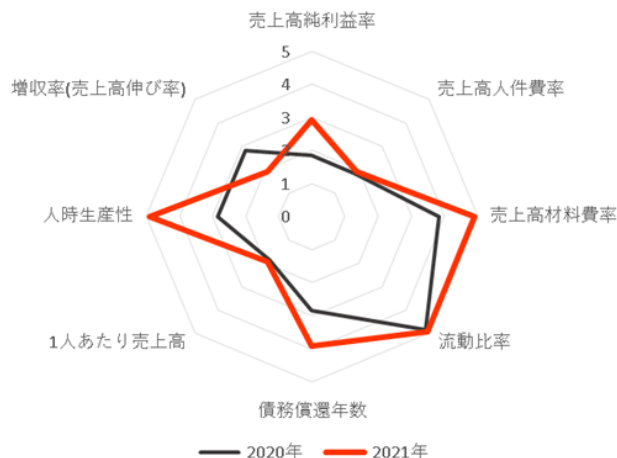
項目			単位	2019年	2020年	2021年	広島県農業経営指標	日本政策金融公庫	分析項目の読み方					
収益性	－	経営者の収入	円	3,500,000	－	4,900,000	－	7,000,000	－	5,500,000	－	4,640,000	－	【法人】役員報酬 【個人】青色申告特別控除前の所得金額
		利益剰余金	円	4,500,000	－	11,500,000	－	29,000,000	－					法人の利益を積み立てたお金で法人内部に蓄積されているもの
	売上高利益率	売上高総利益率（粗利益）	%	30.85	[5]	33.44	[5]	45.51	[5]	44.15	[5]	29.51	[4]	本業でどれだけ儲かっているか（販管費を除く）
		売上高営業利益率	%	-1.87	[1]	5.80	[3]	17.80	[4]	14.91	[4]	-0.25	[1]	本業でどれだけ儲かっているか
		売上高経常利益率	%	0.27	[2]	9.40	[3]	20.94	[5]	14.91	[4]	2.82	[2]	通常の経営活動全体でどれだけ儲かっているか
		売上高純利益率	%	0.20	[2]	4.19	[2]	9.05	[3]	14.91	[4]	2.18	[2]	経営体全体で当期どれだけ儲かっているか
	キャッシュフロー	EBITDA（経常利益ベース）	円	3,920,390	－	19,269,334	－	41,117,124	－	19,044,416	－	10,238,000	－	通常の経営活動全体でどれだけキャッシュを生んでいるか
	主要コスト比率	売上高原価率	%	69.15	[5]	66.56	[5]	54.49	[5]	55.85	[5]	70.49	[4]	本業でどれだけ儲かっているか（製造に関してどれだけ費用が発生しているか）
		売上高販管費率	%	32.72	[1]	27.64	[1]	27.71	[1]	29.23	[1]	29.75	[1]	本業でどれだけ儲かっているか（販売管理業務に関してどれだけ費用が発生しているか）
		売上高人件費率	%	50.89	[1]	47.50	[2]	42.85	[2]	9.49	[5]	11.88	[5]	本業でどれだけ儲かっているか（労務に関してどれだけ費用が発生しているか）
		売上高材料費率	%	9.10	[5]	12.69	[4]	5.07	[5]	12.31	[4]	11.67	[4]	本業でどれだけ儲かっているか（材料調達に関してどれだけ費用が発生しているか）
	資本利益率	ROE（自己資本利益率）	%	0.46	[1]	9.73	[4]	17.91	[5]			6.27	[3]	自己資本をより効率的に運用できているか
		ROA（総資産利益率）	%	0.16	[1]	3.29	[3]	6.40	[5]					
安全性	短期安全性	売上高現預金比率	%	0.79	[1]	17.01	[3]	24.78	[4]					
		流動比率	%	7.55	[1]	368.12	[5]	226.37	[5]					
	長期安全性	固定比率	%	275.08	[1]	248.83	[1]	222.80	[1]					
		有利子負債比率	%	141.96	[1]	183.22	[1]	154.70	[1]					
	財務体質	自己資本比率	%	35.92	[4]	33.78	[3]	35.72	[4]					
		負債比率	%	66.69	－	66.22	－	64.28	－					
生産性	－	経営者の労働時間当たりの収入	円	900	[1]	1,500	[2]	2,200	[3]					
		付加価値	円	86,366,978	－	100,432,637	－	116,716,859	－					
		土地生産性	円	1,738,818	－	1,969,542	－	2,008,660	－					
	労働生産性	労働生産性	円	2,768,172	[1]	3,218,995	[2]	3,740,925	[2]					
		労働生産性（簡易版）	円	-88,590	[1]	311,001	[2]	974,237	[2]					
		1人あたり売上高	円	4,737,164	[1]	5,365,740	[2]	5,472,311	[2]					
		人時生産性	円	1,384	[2]	1,609	[3]	3,200	[5]					
		人時生産性（簡易版）	円	1,500	[2]	1,850	[3]	1,900	[3]					
	－	労働装備率	円	5,328,906	[1]	5,368,268	[1]	5,722,409	[1]					
成長性	成長率	増収率（売上高伸び率）	%			13.27	[3]	1.99	[2]					
		増益率（経常利益伸び率）	%			3902.09	[5]	127.29	[5]					

事業性評価 (財務)

項目	2020年	2021年
売上高純利益率	29.51	29.51
売上高人件費率	50.89	47.50
売上高材料費率	9.10	12.69
流動比率	7.55	368.12
1人あたり売上高	4,737,164	5,365,740
人時生産性	1,384	1,609
増収率(売上高伸び率)		13.27

● 2020年 ● 2021年

事業性評価（財務）



事業性評価チェックリスト 一部抜粋

カテゴリ	チェック項目
成長意欲	常時雇用者を受け入れ、生産体制が整備された経営を目指している(／実現している)。
	農場長に生産管理を任せながら、生産ユニットで規模拡大する経営を目指している(／実現している)。
	生産・営業・経営管理等の分業体制が整備され、生産ユニットを拡大しながら効率的に発展する経営(企業型経営)を目指している(／実現している)。
経営理念・ビジョン	会社の理念・ビジョンは明確になっている。(将来のやりたい農業がイメージできており、他者に伝えられる)
	会社の外部・内部環境の変化に応じて、理念やビジョンの定期的な見直しや従業員に伝える機会を設けている。 ※見直しの結果、「変更なし」という判断を行っている場合を含む。
	農場長などのマネージャーが理念やビジョンの見直しに参加している。
経営計画	長期的(20年程度)な生活設計(ライフプラン)を作成している。
	中期的(5年程度)な経営計画を作成している。
	毎年、短期の経営計画(1年程度)を作成している。
	全社・部門ごとの目標を設定している。
	部門の目標設定に、その部門の農場長などのマネージャーが参加している。
経営管理	経営計画(中期、短期)について、年に1回は振り返りを行っている。
	全社目標・部門目標は目標ごとに進捗を管理・確認する責任者が決まっている。
	部門ごとに中間目標(マイルストーン)を設定し、毎月その進捗管理を行っている。
設備投資/資金繰り	資金繰り計画を作成している。
	資金繰り計画に基づき、予実管理を行っている。
	資金繰りや中長期の投資計画を管理する担当者を決めている。
部門別のP/L管理	部門別の売上高と売上原価を把握している。
	決算時に部門別のP/L(実績)を作成している。
	社内の担当者が、部門別のP/L予算計画(部門目標の設定を含む)を作成している。
情報発信	情報発信に関する取組み(ホームページ作成・SNS運用等)を行っている。
	年間の広報計画を作成し、広報の担当者(自身含む)を決めている。
災害/事故対応	災害/事故対応に関する取組み(訓練等)が行われている
	災害や事故対応のマニュアル/ガイドラインを作成し、定期的に見直しを行っている。

※ 就農間もない者にも達成してほしい項目